

日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)円ヘッジありコース/円ヘッジなしコース(愛称:ジェイブリッド)

【投信協会商品分類】 追加型投信/海外/その他資産(ハイブリッド証券)
 【設定日】 2013年8月29日 【決算日】 原則、毎月14日

第36期 決算速報

平素は「日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)円ヘッジありコース/円ヘッジなしコース」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは2016年8月15日、第36期決算を迎えました。
 今期の分配金は基準価額水準、市場動向等を総合的に勘案し、以下のとおり決定致しましたので、ご報告申し上げます。

円ヘッジありコースについては前期と同水準の30円とし、円ヘッジなしコースについては今期は40円とします。
 円ヘッジなしコースについては、円安・ドル高が進行していたため、インカム収入に為替の値上がり益を含め、80円分配を継続してきました。しかし、足元の投資環境は円高・ドル安傾向が続いていることを鑑み、今期よりインカム収入を中心とした40円の分配を行うこととしました。なおドル/円相場の見通しにつきましては、後述のQ&A5をご覧ください。

今後とも信託財産の成長を目指して運用を行って参りますので、引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

当期決算概要

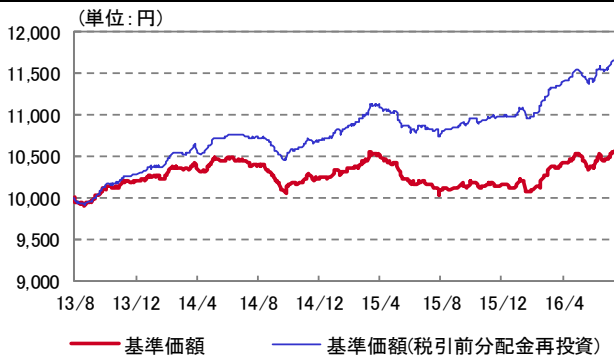
	当期末基準価額 (1万口当たり、分配金落ち後)	当期分配金 (1万口当たり、税引前)	前期分配金 (1万口当たり、税引前)	設定来分配金累計 (1万口当たり、税引前)
円ヘッジありコース	10,538円	30円	30円	1,045円
円ヘッジなしコース	10,163円	40円	80円	2,140円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

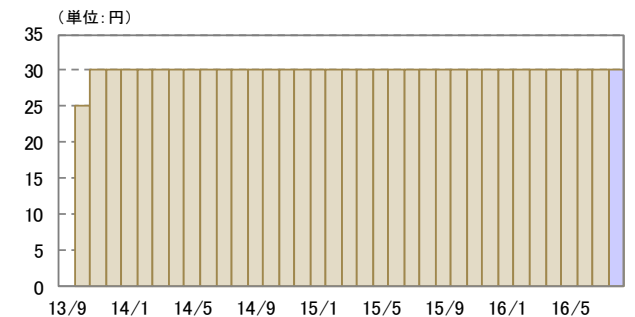
<円ヘッジありコース>

基準価額の推移

2013/08/29~2016/08/15



分配実績(直近3年分/1万口当たり、税引前)



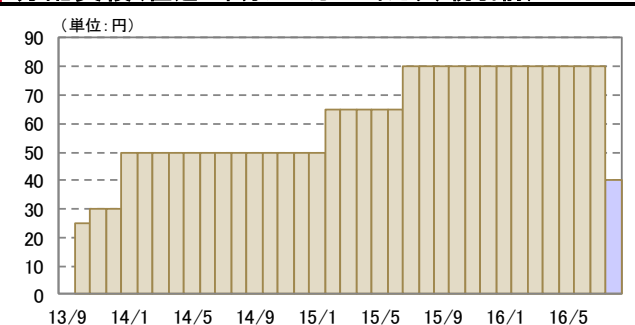
<円ヘッジなしコース>

基準価額の推移

2013/08/29~2016/08/15



分配実績(直近3年分/1万口当たり、税引前)



※ 基準価額(税引前分配金再投資)は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものと計算しております(以下同じ)。
 ※ 基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)の計算において信託報酬(後掲「ファンドの費用」参照)は控除されております(以下同じ)。
 ※ 当ファンドは、ベンチマークを設定していません。
 ※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)のグラフが重なって表示される場合があります。

上記の運用実績に関する数値、グラフ等は、すべて過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)円ヘッジありコース/円ヘッジなしコース(愛称:ジェイブリッド)

Q1. 分配金の額はどのように決定しているのですか。

A1. 基準価額の水準、市場動向等を総合的に勘案し、決算の都度委託会社が決定しています。

したがって、将来の分配額について予め一定の額をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては現在の分配金の水準を維持できないことや分配を行わないことがあります。

Q2. 分配金の水準が高いファンドは運用成果がいいということですか。

A2. 分配金額が多いか少ないかだけをもってファンドの運用成果を判断することはできません。

ファンドの運用成果は受け取った分配金の累計額だけでなく、投資した期間におけるファンドの基準価額の騰落額との合計(トータル・リターン)をもって測ることができます。つまり、受け取った分配金の多寡だけではファンドの運用成果を判断することは出来ないと云えます。

各ファンドのトータル・リターンは月次運用レポートまたは弊社ホームページ内ファンド紹介ページ「基準価額・分配金チャート」の「期間別騰落率」よりご確認くださいませ。

Q3. 分配金を引き下げた分は、どうなるのですか。

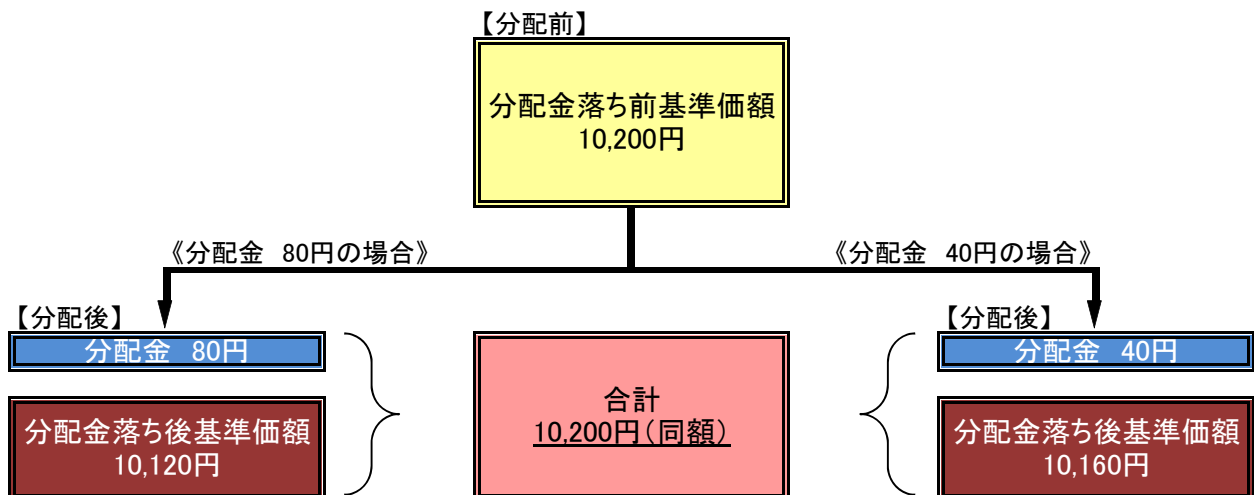
A3. 引き下げた分配金の差額分はファンドの純資産として内部留保されます。

分配金は預貯金の利息とは異なり投資信託の純資産から支払われますので、分配金を引き下げた分はファンド内に留保されます。

分配金の差額がファンド内に内部留保される仕組みを基準価額を使って説明します。分配金が支払われるとその金額相当分基準価額は下がります。分配金と分配金落ち後の基準価額を足したものは分配金の額に関係なく分配落ち前基準価額と概ね同じ水準となります。

下図をご覧ください。たとえば、分配金支払い前の基準価額が10,200円で「80円分配」した場合は分配金支払い後の基準価額は10,120円となります。一方、「40円分配」した場合分配金支払い後の基準価額は10,160円となります。分配金を80円から40円に引き下げてもその差(40円)はファンド内に留保され分配金支払い後基準価額(10,120円 → 10,160円)に反映されることになります。

(イメージ図)分配金と基準価額の関係



※上記は、分配金と基準価額のご理解いただくためのイメージ図であり、基準価額の水準を示唆するものではありません。
 ※分配金は1万口当たり税引前の金額で表示しています。課税による影響は考慮していません。

